

Tacaof

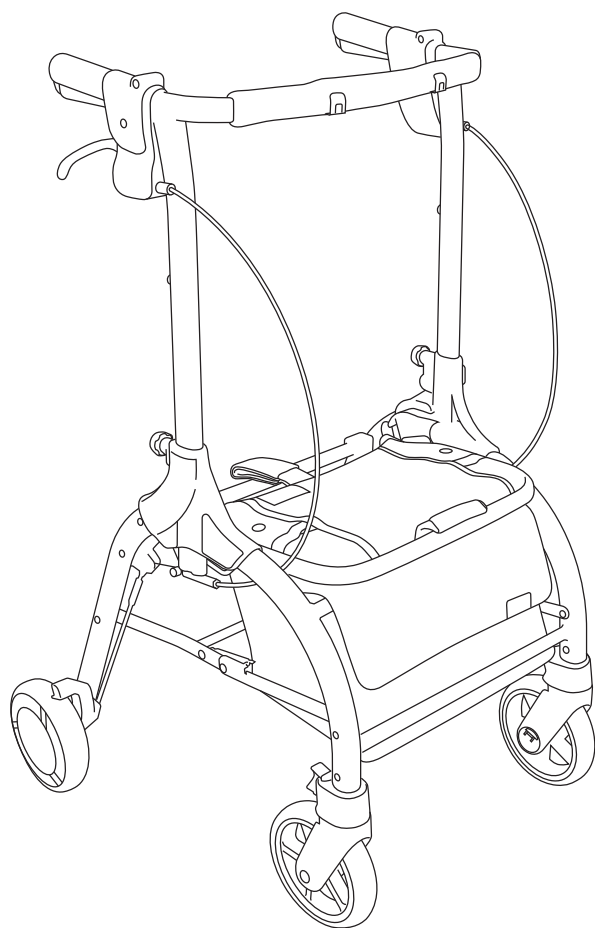
品名 ジスタワイドR

歩行車

品番 WAW37

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。
製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。



目次

ご使用前の注意	1P
ご使用上の注意	2～3P
お手入れ方法	3P
保管方法	3P
各部の名称と製品仕様	4P
ハンドルフレームの取付方法	5P
車体の組み立て方・折りたたみ方	5～6P
グリップ・ブレーキの使用方法	6～7P
座面の使用方法	7～8P
袋の使用方法	8P
荷物用フックの使用方法	8P
店内カゴの使用方法	9P
2WAYキャスターの使用方法	10P
杖立ての使用方法	10P
ブレーキの調節方法	11～13P

後輪（抑速ブレーキユニット）について

抑速ブレーキユニットのご使用上の注意	14P
各部の名称と製品仕様	14P
日常の点検	15P
お手入れ方法	15P
タイヤの交換時期確認方法	15P
故障かな？と思ったら	16P
保証書	

株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1
TEL:072-238-0459

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

この製品は抑速ブレーキ付きの歩行車です。
通常の歩行では抑速ブレーキがかからずスムーズに歩行でき、
急加速時のみ抑速ブレーキがかかり加速をおさえます。
転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用前の注意

！ 警告 下記の場所では絶対に使用しないでください。

- バス・電車の中やエスカレータ。
- 雨・雪・凍結などで滑りやすい所。
- 悪路での使用。（石畳など車体に衝撃が加わりやすい場所）
- 後輪（抑速ブレーキ付き）を取りはずして弊社指定の車体以外に取り付けしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 使用前にかならず後輪の抑速ブレーキがかかることを確認してください。後輪の動作がおかしい、または異音がする場合は使用しないでください。修理が必要な場合はかならずご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へ連絡してください。

！ 注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 組み立てる際は、周囲に人がいないことを確認してください。
- 組み立て、折りたたみおよび調節は確実に行ってください。また指などをはさまないように注意してください。
- ご使用前は各部を点検し、フレームや各部に亀裂・破損・変形などがある場合は使用しないでください。
- 各部を点検し、特にハンドブレーキ使用時や駐車ブレーキ状態、座面使用状態のときに左右の後輪が確実に固定されていることを確認してください。
- ノブボルトは最後までしっかり締めて、ハンドルフレームが確実に固定されていることを確認してください。
- ブレーキを解除したときには、後輪がスムーズに回転することを確認してください。ブレーキ部品が後輪に干渉する場合はブレーキの調節をしてください。（「ブレーキの調節方法」参照）
- ネジなどのゆるみがないことを確認してください。
- タイヤおよびブレーキパッドに磨耗が無いことを確認し、必要に応じて交換などをしてください。交換する場合はご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へ連絡してください。
- ご使用の際は、かならずご自身の体調を確認し、安全に使用できるかどうかを判断してください。体調によっては、転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 坂道・溝・段差のある所、砂・泥・水溜りのある所を通る場合は十分に注意してください。
- 交通量の多い所や混雑している所で使用する場合、また夜間に使用する場合は十分に注意してください。

転倒や事故防止のため、下記の事項をかならず守ってください。

ご使用上の注意

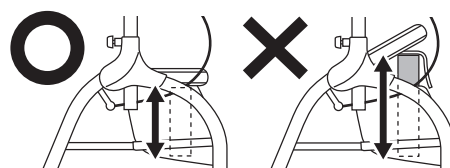


警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- グリップ以外の場所を持って歩行しないでください。
- グリップを片手で操作しないでください。
- グリップに寄りかかったり、荷物を吊り下げたりしないでください。車体だけが動いたり、転倒することがあり危険です。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。
- 段差や溝などにつまずくと、転倒するおそれがありますので注意してください。また、段差に対して斜めに侵入しないでください。段差の手前ではかならず一旦止まり、十分注意して慎重に越えてください。
- 座面を出した状態で歩行しないでください。また、座面を戻す際は、袋の上にくるまで倒してください。袋の上にくるまで倒れない場合、ブレーキが作動しないことがあり危険です。
- 後輪のホイールキャップがかならず取り付けられていることを確認してください。ゴミや水などが侵入すると抑速ブレーキが正常に動作せず、転倒するおそれがあります。はずれている場合はご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へ連絡してください。



座面に関して

- 座面に座る際は、かならず座面を出した状態で座ってください。
- 座面に座る際は、左右の後輪が固定されていることを確認してください。
- 立ち座りの際は、車体が動かないことを確認してからゆっくりと身体を動かしてください。
- 最大使用者体重をかならず守ってください。
- 勢いよく座らないでください。車体に変形、破損することがあります。
- 車体を折りたたんだ状態で座らないでください。
- 座面に座る際は、身体をまっすぐ前に向けて座ってください。座面に対して斜め、または横向きに座るとバランスを崩し転倒するおそれがあります。
- 立ち座りの際に、グリップをご使用の際は、必ず両方のグリップを握ってください。片方のみによりかかると、転倒するおそれがあります。

- 分解・修理は弊社サービス員以外行わないでください。



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

歩行のとき

- ハンドブレーキを握った状態、および駐車ブレーキがかかった状態で歩行しないでください。
- ブレーキは自動車のブレーキとは構造的に違いますので、過信しないでください。
- 坂道では駐車しないでください。坂道では、たとえ駐車ブレーキがかかった状態でも動く場合があります大変危険です。
- 踏切横断時は、踏切レールの隙間に注意し、路線に対して直角に横断してください。
- 座面に人を乗せたまま押さないでください。
- グリップに勢いよく負荷をかけないでください。
- ペットの散歩には使用しないでください。転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。





注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

座面に関して

- 坂道などの斜面では座らないでください。
- 浅く座らないでください。
- 踏み台として使用しないでください。
- 幼児、子供を座面上に立たせないでください。また、操作させないでください。

袋に関して

- 袋に 6kg 以上の重さの荷物を入れないでください。
- 袋に荷物を入れたままで折りたたまないでください。
- 袋の中に乳幼児を乗せないでください。
- 袋の中に貴重品を入れたまま車体からはなれないでください。
- 袋の中に鋭利な物を入れないでください。

店内カゴの利用に関して

- 店内カゴは底面が水平なものをご使用ください。
- 店内カゴに 5kg 以上の荷物を入れないでください。
- 店内カゴを載せた状態で車体を折りたたまないでください。
- 店内カゴを載せた状態でグリップ高さの調節をしないでください。
- 店内以外や傾斜・段差のある場所で、店内カゴを載せて歩行しないでください。
- 荷物を載せる際は、勢いよく載せないでください。また、店内カゴ内中央付近に置き、端には載せないでください。
- 店内カゴを載せる際は、店内カゴ固定用フックで固定してください。カゴが倒れることがあります。

荷物用フックに関して

- 荷物用フックに合計 2 kg 以上の荷物をかけないでください。
- 荷物用フックに荷物をかけたまま折りたたまないでください。
- 荷物用フックに荷物をかけたままグリップの高さの調節をしないでください。
- 荷物用フックに荷物をかける際は、勢いよくかけないでください。
- 車体からはみ出すような大きな荷物はかけないでください。
- 荷物をかけた際、車体の操作性が少し変わったり、車体がふられることがあります。注意して歩行してください。

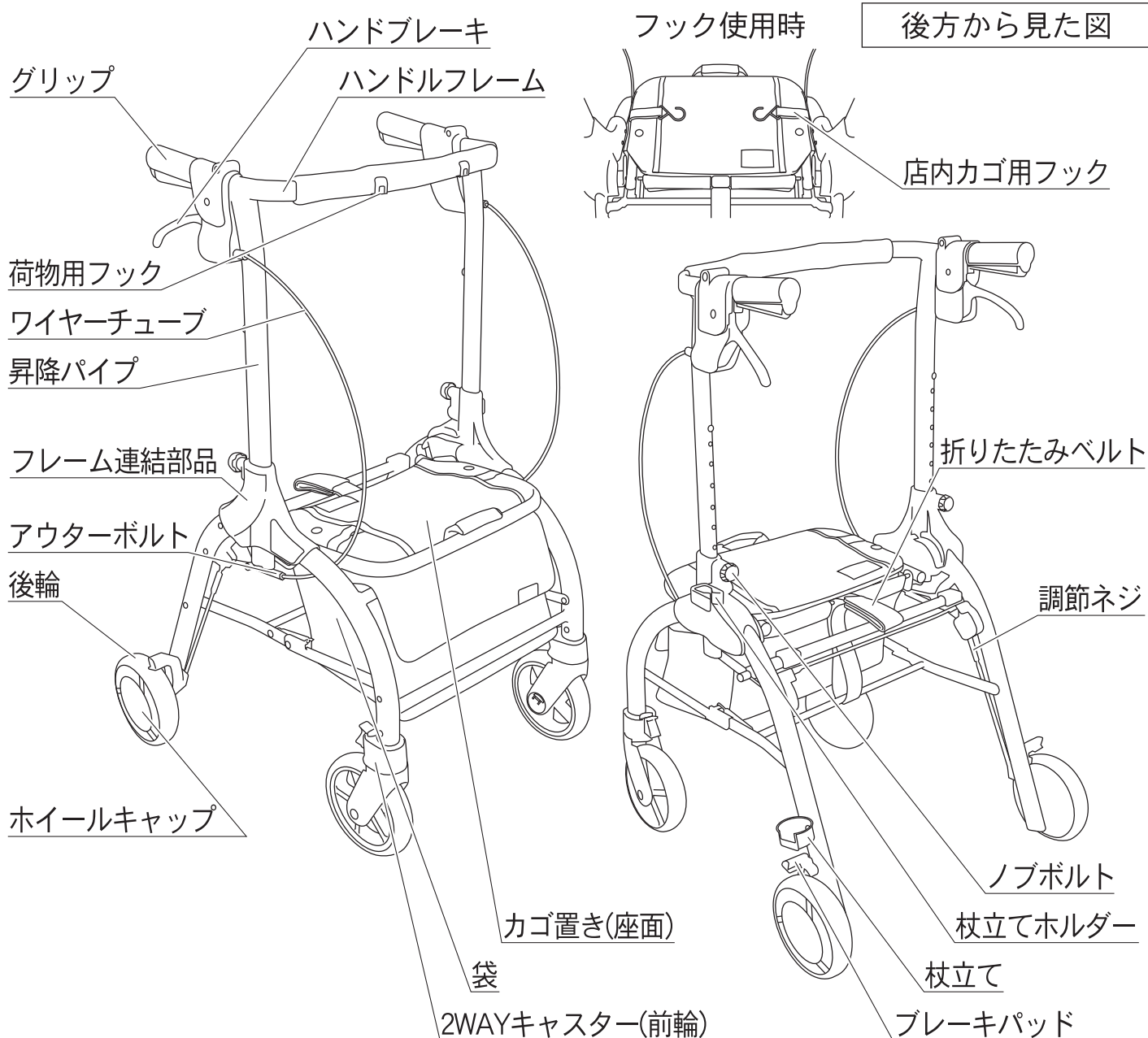
お手入れ方法

- 雨などで濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。泥やほこりがついたときは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。
- 縫製品の汚れは、水につけた布を固くしぼって拭き取り、その後よく乾かしてください。
- 研磨剤入りのスポンジを絶対に使用しないでください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾール、アルコール類などは絶対に使用しないでください。劣化や色落ちをまねくことがあります。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。

保管方法

- 屋内で保管してください。また、長期間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。
- 雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 車体を倒した状態で、車体の上に荷物を重ねないでください。故障の原因となります。

各部の名称と製品仕様



組み立て寸法	幅560×奥行600 ×高さ775～985 mm	重 量	7.4 kg
		最大使用者体重	100 kg
折りたたみ寸法	幅560×奥行370×高さ840 mm	袋の積載荷重	6 kg
押し手高さ	760～970 mm 8ポジション	荷物用フックの耐荷重	合計 2 kg
座面高さ	465 mm	本体材質	アルミニウム合金
座面寸法	幅355×奥行230 mm	車輪材質(前)	ポリプロピレン・EVA樹脂
袋 寸 法	幅350×奥行195×高さ180 mm	車輪材質(後)	ナイロン・SBR
		座面材質	ポリエステル
		袋 材 質	ポリエステル

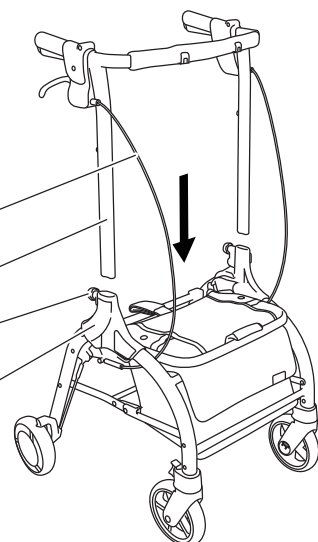
※各寸法、重量は参考数値です。

ハンドルフレームの取付方法

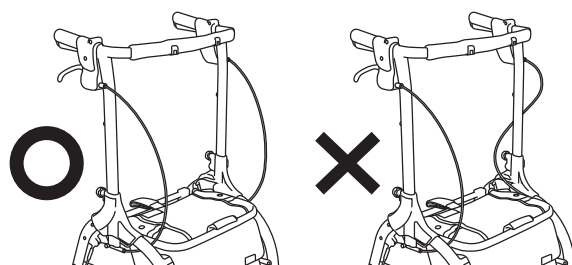
左右のノブボルトを反時計回りに回してゆるめてください。
ワイヤーチューブがねじれないように注意し、昇降パイプを
左右のフレーム連結部品に差し込んでください。



ワイヤーチューブ
昇降パイプ
ノブボルト
フレーム連結部品

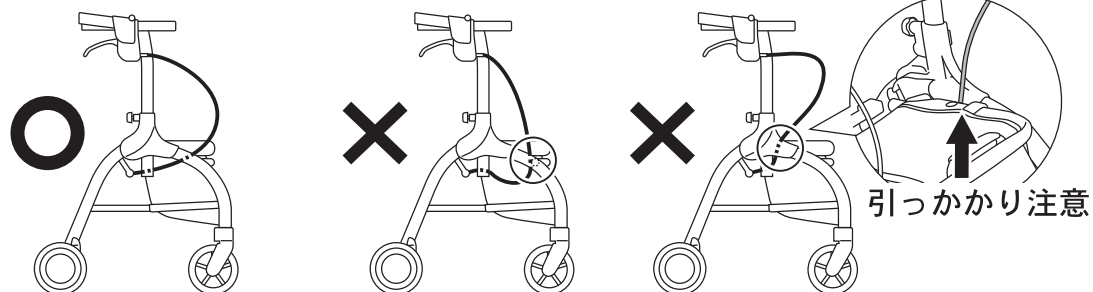


- 指などをはさまないように注意してください。
- 取り付ける際、ワイヤーチューブがねじれていないことを確認してください。



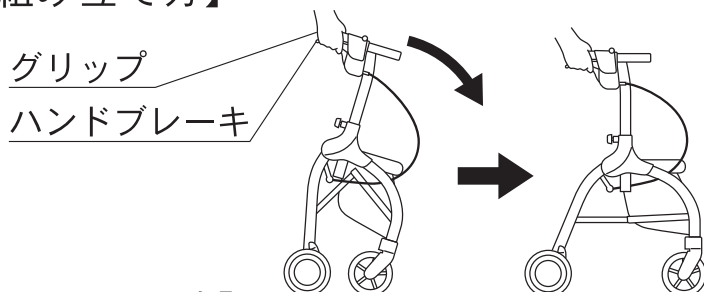
⚠ 注意

- ハンドルフレーム取り付け後、ワイヤーチューブがフレームやフレーム連結部品、カゴ置き(座面)等に引っかかっていることを確認してください。



車体の組み立て方・折りたたみ方

【組み立て方】



グリップとハンドブレーキを一緒に握り、そのまま車体を前方へ押し出すように動かしてください。
(※その際、体重をかけて車体に寄りかからないようにしてください。転倒のおそれがあり危険です。)

【折りたたみ方】

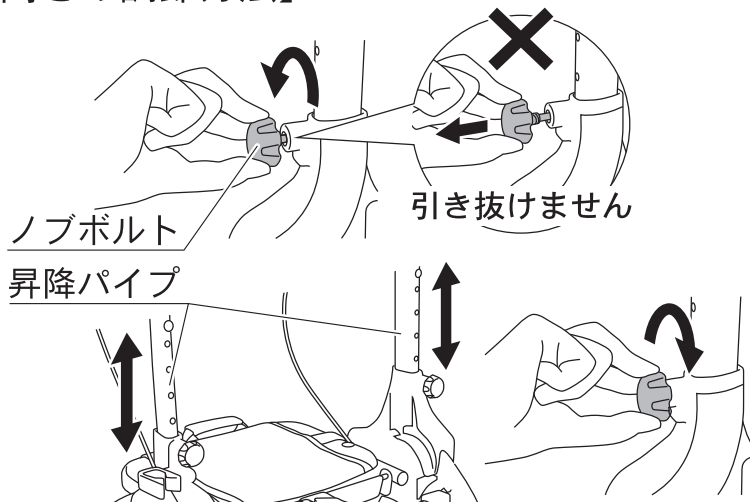


折りたたみベルトをまっすぐ上へ引きあげてください。

⚠ 注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。
- 確実に組み立てられていることを確認してから使用してください。
- 店内カゴを載せた状態で、折りたたまないでください。
- 荷物用フックに荷物を掛けたまま折りたたまないでください。

【高さの調節方法】



ノブボルトを反時計回りに回してください。
昇降パイプを上下させお好みの高さに合わせてください。
ノブボルトを時計回りに最後まで回してしっかり固定してください。

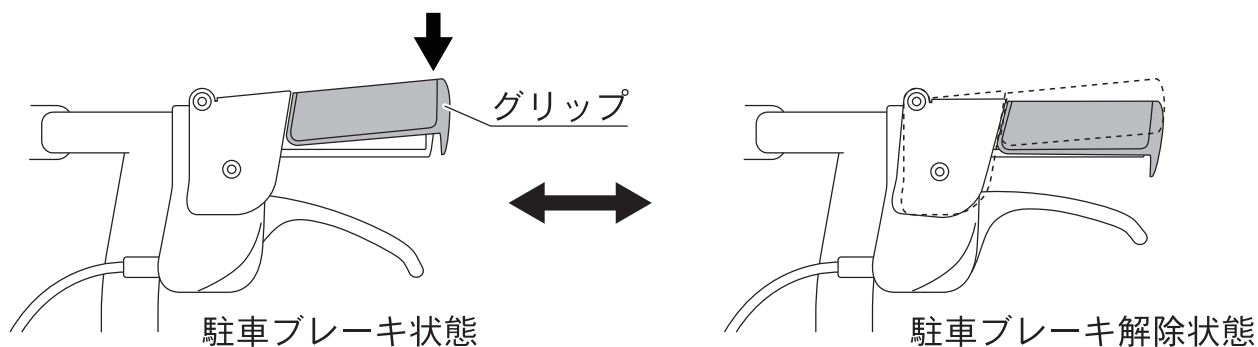
⚠ 注意

- ノブボルトを最後までしっかり締めて、グリップが確実に固定されていることを確認してください。
- 高さ調節の際、勢いよくグリップを引き抜かないでください。
- ノブボルトは紛失防止の為、引き抜けなくなっています。勢いよく引っぱらないでください。
- かならずグリップ高さの最高値以下で使用してください。
- 高さ調節後、都度ブレーキの確認を行ってください。
- 指などをはさまないように注意してください。

グリップ・ブレーキの使用法

【グリップの使用法】

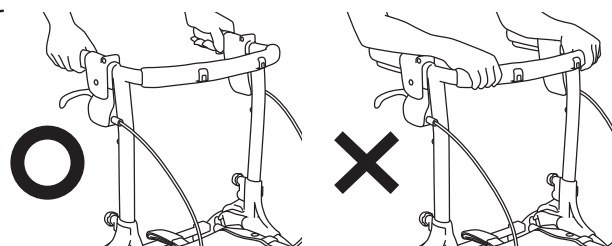
- 1 本製品はグリップが上下に動きます。
グリップを上から押さえ、右下図のように駐車ブレーキ解除状態になったことを確認してから握ってください。
グリップを握ると駐車ブレーキが解除されます。グリップから手を離すと後輪が固定され駐車ブレーキがかかります。



2 左右のグリップを握って、ゆっくり歩行してください。

- グリップ以外の部分を握って使用しないでください。

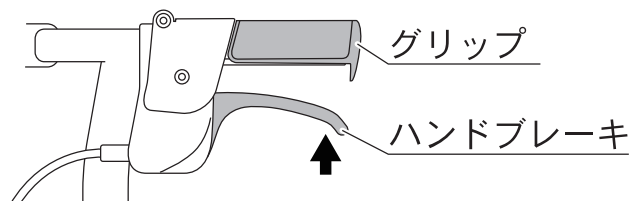
⚠ 注意



- 片手での操作はしないでください。バランスを崩し危険です。
- 歩行する際は駐車ブレーキが解除されていることを確認してください。

【ハンドブレーキの使用方法】

グリップを握りながら、左右のハンドブレーキを同時に握ってください。



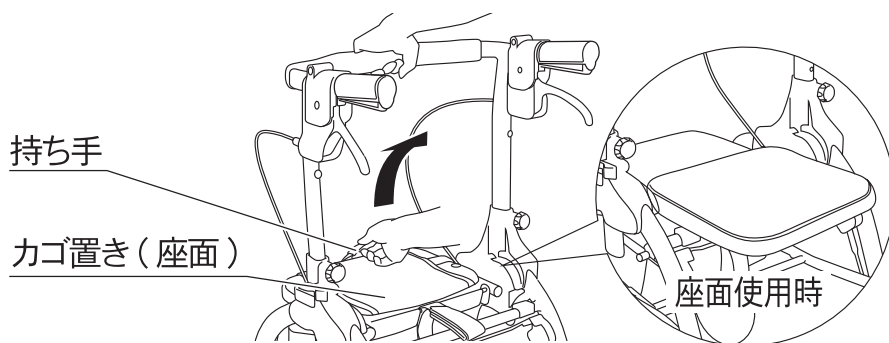
- ⚠ 注意 ● 指などをはさまないように注意してください。

座面の使用方法

持ち手を矢印方向に引きあげ、座面を出してください。

左右の後輪がしっかり固定されていることを確かめてから、座面中央に座ってください。

座面を戻す際は、座面を持ちあげ袋の上にくるまで前方に倒してください。

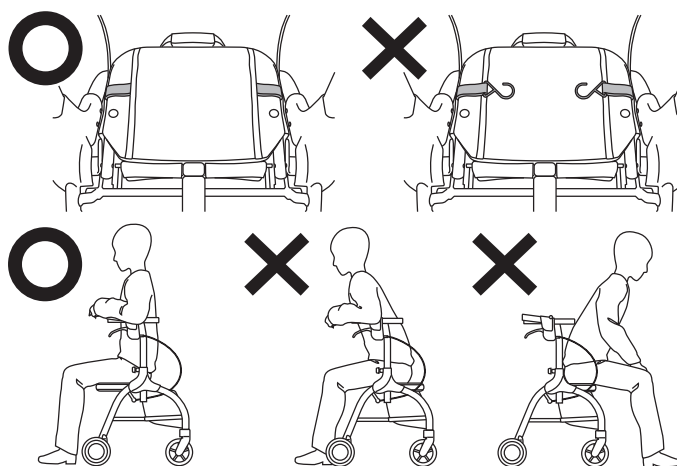


- 指などをはさまないように注意してください。

- 座面開閉時は、店内カゴ用フックを収納してください。

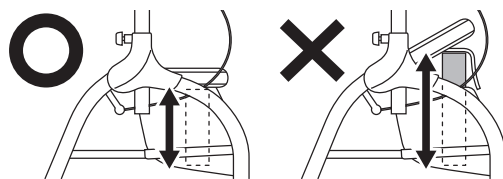
⚠ 注意

- 座面が出ていない状態では座らないでください。



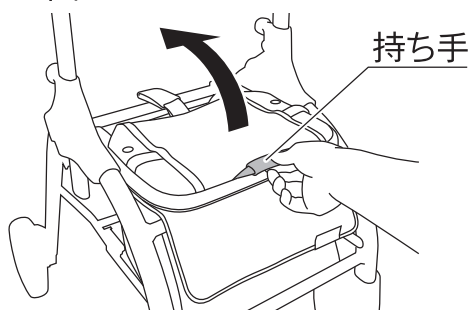
⚠ 注意

- 座面を出したまま、歩行しないでください。駐車ブレーキが解除されず歩行できません。
- 袋内の荷物などで座面が袋の上にくるまで倒れない場合、ブレーキが作動しないことがあります危険です。荷物が大きい場合は、荷物用フックなどをご使用ください。
- グリップ及びハンドブレーキを握ったまま、座面を開閉しないでください。駐車ブレーキが解除され、車体が動く可能性があります。

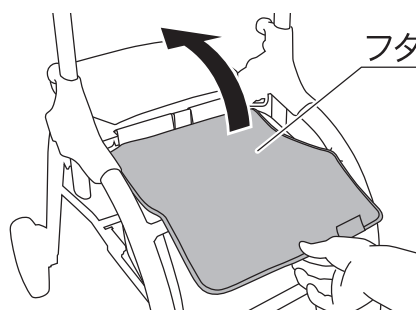


袋の使用方法

- 1** 持ち手を矢印の方向に持ちあげ、座面を出してください。

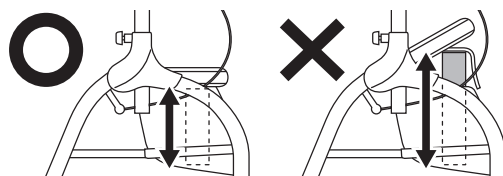


- 2** 袋のフタをめくってください。



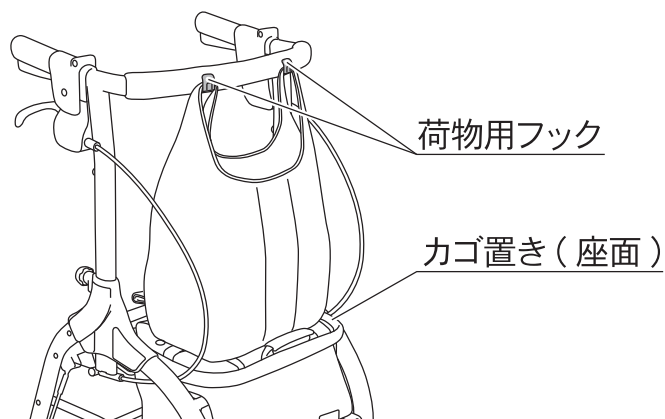
⚠ 注意

- 指などをはさまないように注意してください。
- 袋には袋の高さ以上の荷物を入れないでください。袋内の荷物などで座面が袋の上にくるまで倒れない場合、ブレーキが作動しないことがあります危険です。荷物が大きい場合は、荷物用フックなどをご使用ください。



荷物用フックの使用方法

荷物用フックに荷物をかけてください。
大きい荷物の場合は、荷物をかけたあとに
カゴ置き（座面）の上に載せてください。

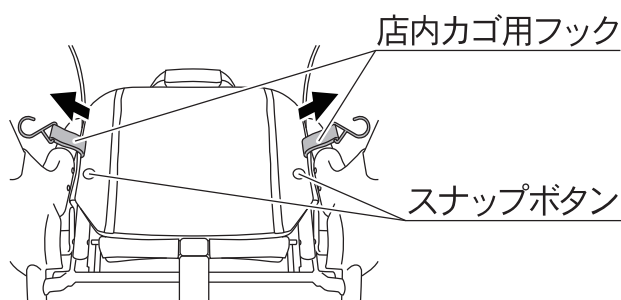


⚠ 注意

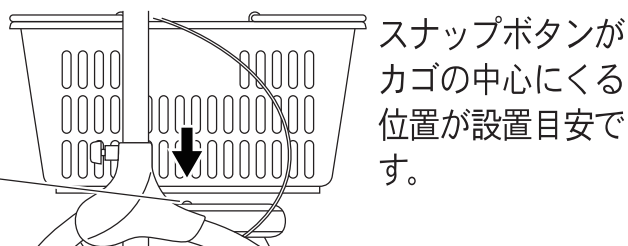
- 荷物をかける際に、指などをはさまないように注意してください。
- 荷物をかける際は、勢いよくかけないでください。

店内カゴの使用方法

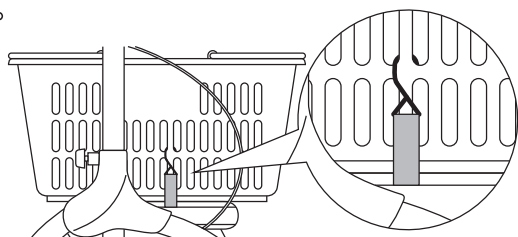
1 店内カゴ用フックを出してください。



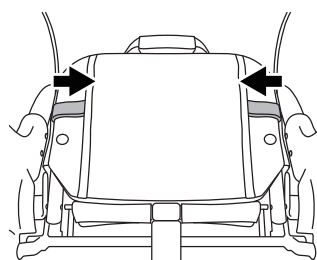
2 店内カゴを縦向きにゆっくりと設置してください。



3 店内カゴ用フックを店内カゴ側面の中央付近に伸ばしながら引っかけてください。

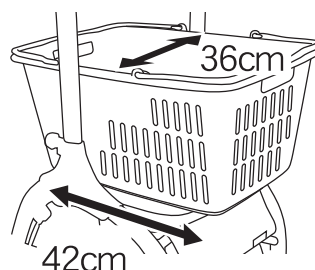


4 お買い物後、店内カゴ用フックを収納してください。



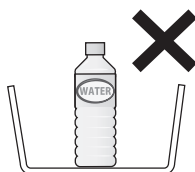
【適応店内カゴサイズ】

幅約 36cm× 底面の奥行約 42cm 以下
※店内カゴの大きさは参考数値です。
かならず店内カゴが安定して設置
されていることを確認してご使用
ください。



- 適応サイズ以外の店内カゴを載せないでください。
- 店内カゴ以外の物を載せたり台車として物品運搬などに使用しないでください。
- 店内カゴを載せる際は、勢いよく載せないでください。
- 荷物は店内カゴ中央付近に置き、端には載せないでください。また、重い荷物は立てずに寝かせて置いてください。

⚠ 注意



- 店内カゴを使用する際は店内カゴ用フックを掛けてください。また店内カゴ用フックは、店内カゴ側面の中央付近に引っかけてください。店内カゴが倒れることがあります。
- お買い物後、店内カゴ用フックを収納してください。座面使用時や袋使用時に引っかかることがあります。
- 店内カゴ用フックは店内カゴの固定以外の用途には使用しないでください。

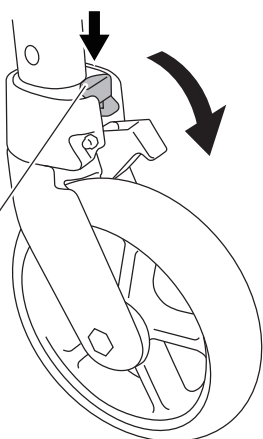
2WAYキャスターの使用法

前輪の動き方を、お好みに合わせて2段階に設定していただけます。
キャスターボタン、キャスターストッパーを操作し設定してください。

回転角度120度

キャスターボタンを押し、キャスターストッパーをおろす。

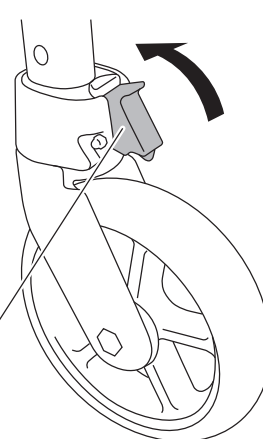
キャスターボタン



回転角度360度

キャスターストッパーを持ちあげ固定する。

キャスターストッパー



⚠ 注意

- 左右の前輪のキャスターストッパーが同じ位置にあることをかならず確認してください。
- 指などをはさまないように注意してください。

杖立ての使用法

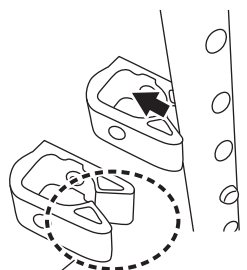
【杖立てへの取り付け方】

取り付け可能な杖は外径 16 ~ 22mm の杖です。

- ①杖立てに杖の足ゴム部分を置いてください。
- ②杖立てホルダーに杖を取り付けてください。

杖立てホルダーへの取り付けは右図の様に、杖立てホルダーの挿入部分から杖を押し入れてください。

挿入部分

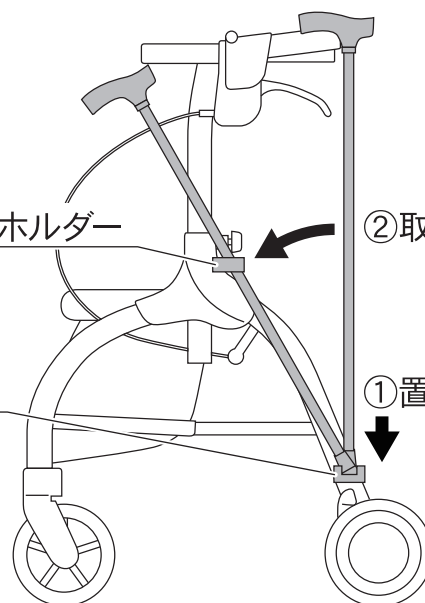


杖立てホルダー

杖立て

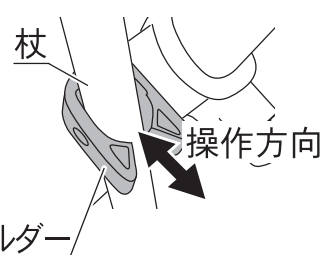
②取り付ける

①置く



⚠ 注意

- 杖が確実に杖立てホルダーの中に入っていることを確認してください。
- 杖立てホルダーに操作方向以外の方向に力を加えるなど無理な操作はしないでください。



【取りはずし方】

取り付け方の逆の手順で取りはずしてください。

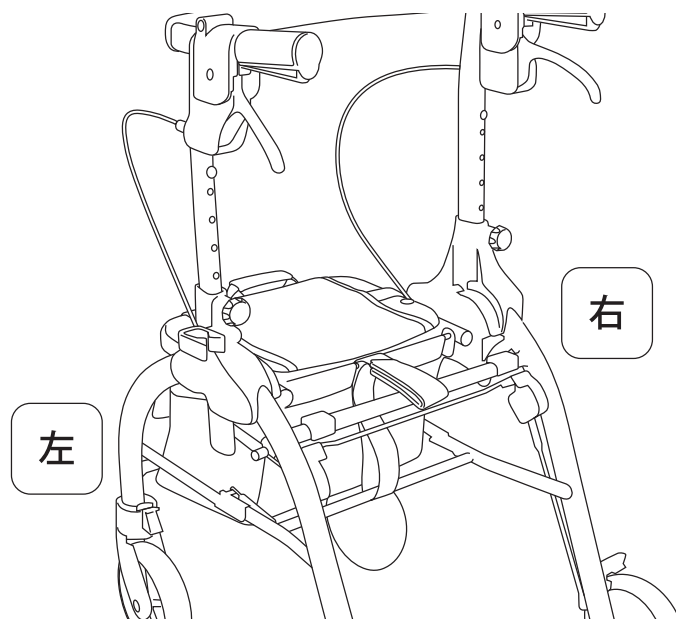
ブレーキの調節方法

駐車ブレーキやハンドブレーキの効き方に不都合があるときは、以下の手順で調節してください。アウターボルト、調節ネジは左右にあります。必要に応じてそれぞれ調節してください。

【駐車ブレーキに不都合がある場合の調節】

下記調節位置一覧の状態に合わせて

左、右 または 左右 の
アウターボルトの調節をしてください



■調節位置一覧

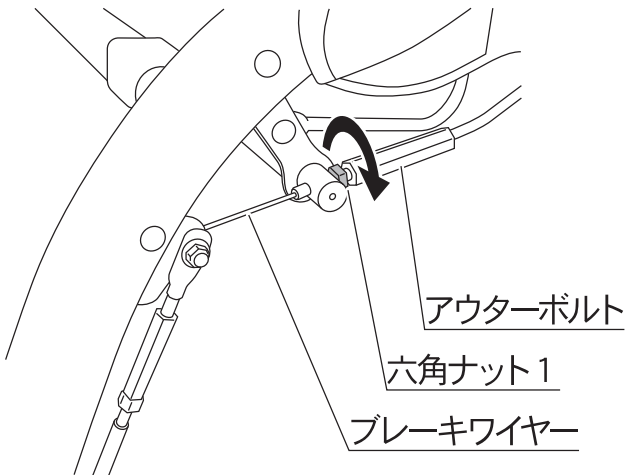
①	グリップを握った際、 駐車ブレーキが <u>解除されない</u>	右グリップのみ操作 した際に解除されない	右
		左グリップのみ操作 した際に解除されない	左
		両側グリップを操作 した際に解除されない	左右
②	グリップから手を離した際、 駐車ブレーキが <u>かからない</u>	右後輪タイヤのみ 駐車ブレーキがかからない	右
		左後輪タイヤのみ 駐車ブレーキがかからない	左
		両側後輪タイヤの 駐車ブレーキがかからない ※1	左 or 右 または 左右

※1 ワイヤーの張りが強い方を調節してください。改善されない場合は反対側のアウターボルトの調節を行ってください。

ブレーキの調節方法

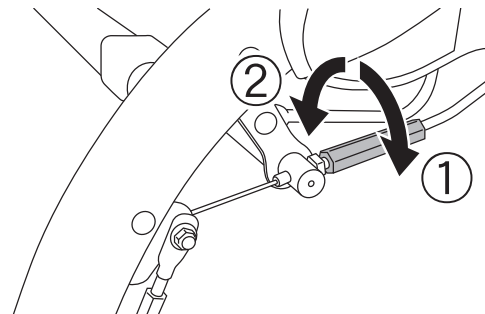
■調節手順 1

- 1** 六角ナット 1 を車体後方から見て、時計回りに回してゆるめてください。



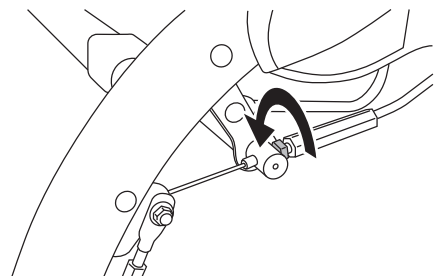
- 2** アウターボルトを回して左右のブレーキワイヤーの張り具合を合わせるように調節してください。

- ①の場合→時計回りに回す
(ブレーキワイヤーが張る)
②の場合→反時計回りに回す
(ブレーキワイヤーがゆるむ)
※①、②: 調節位置一覧参照



- 3** 調節後、左右片側ずつ及び両側グリップの操作、ハンドブレーキの操作を行い、動作に問題がないことを確認してください。調節が不十分な場合、**2**の調節を再度行ってください。

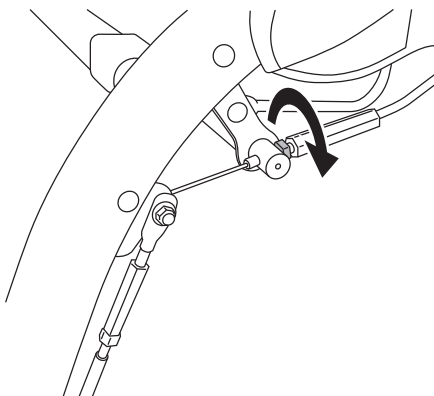
- 4** 六角ナット 1 を車体後方から見て反時計回りに回して締めてください。



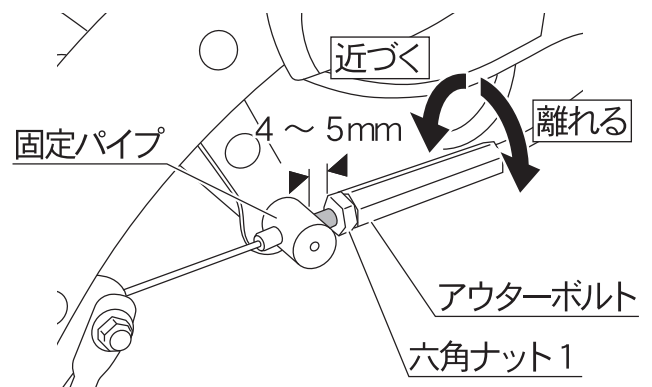
【上記で調節ができない場合やハンドブレーキに不都合がある場合の調節】

■調節手順 2

- 1** 左右の六角ナット 1 を車体後方から見て、時計回りに回してゆるめ、アウターボルトの位置まで移動させてください。

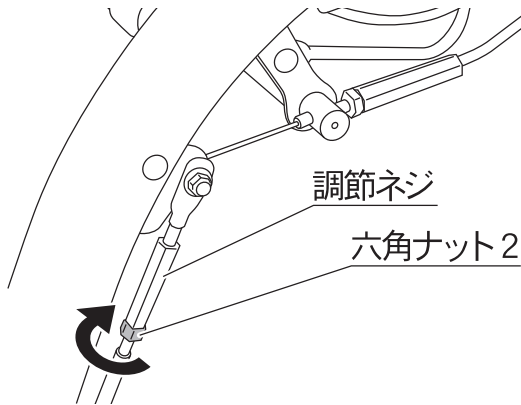


- 2** 左右のアウターボルトを回し、六角ナット1と固定パイプとの隙間を4～5mm開け、左右のブレーキワイヤーの張りを合わせてください。

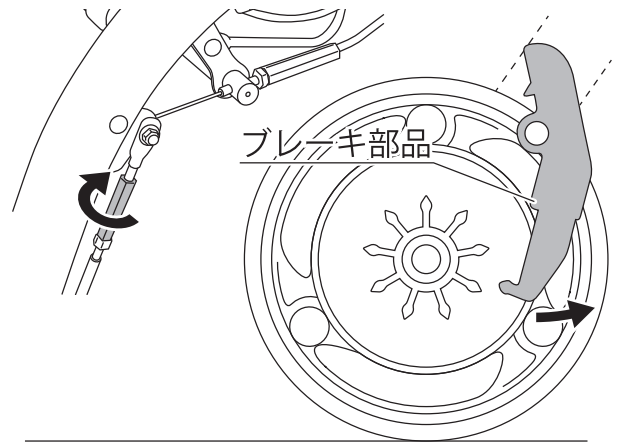


ブレーキの調節方法

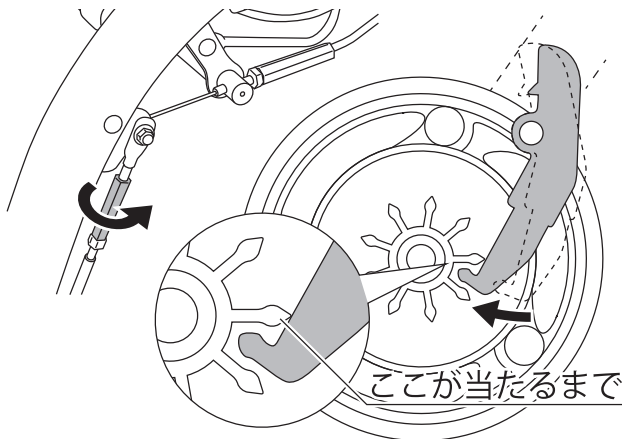
- 3** 左右の六角ナット 2 を時計回りに回してゆるめてください。



- 4** 左右の調節ネジを時計回りに回して、ブレーキ部品をタイヤ中央から離してください。
(一度リセット状態にする)

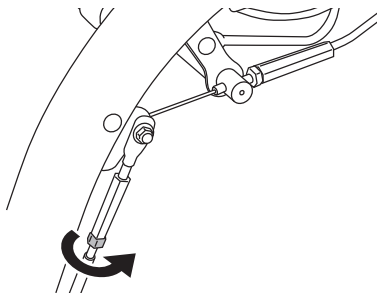


- 5** 左右の調節ネジを反時計回りに回し、ブレーキ部品と後輪ホイールが当たる位置まで調節してください。
(目安：調節ネジの手ごたえが軽くなります)

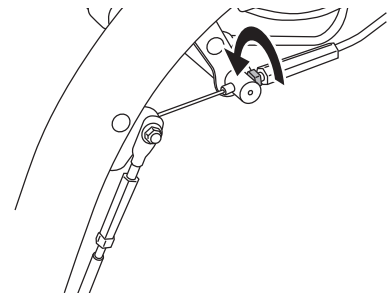


- 6** 調節後、左右片側ずつ及び両側グリップの操作、ハンドブレーキの操作を行い、動作に問題がないことを確認してください。調節が不十分な場合、調節手順 1 **2** の調節を再度行ってください。

- 7** 六角ナット 2 を反時計回りに回して締めてください。



- 8** 六角ナット 1 を車体後方から見て反時計回りに回して締めてください。



⚠ 注意

- かならずご使用のグリップ高さで調節を行ってください。
- 調節後、左右片側ずつ及び両側グリップの操作、ハンドブレーキの操作を行い、動作に問題がないことを確認してください。

後輪（抑速ブレーキユニット）について

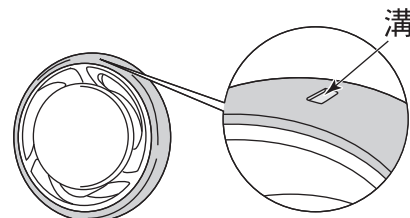
本製品に付いている後輪（抑速ブレーキユニット）は、急加速時に自動で抑速ブレーキが作動します。タイヤを完全に止めることはできませんので、車体から完全に利用者がはなれてしまったときなどは転倒するおそれがありますので、ご注意ください。

抑速ブレーキユニットのご使用上の注意

抑速ブレーキユニットは、転倒につながるような急加速時に抑速ブレーキが作動し、速度が上がり過ぎることを抑える目的として設計されています。

タイヤを引きずるような速い速度で歩行し続けて抑速ブレーキが常に効いた状態が長時間続くと、抑速ブレーキユニットに過度の負荷がかかり、部品の損傷につながるおそれがあります。かならず下記の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らずに使用を続けた場合、商品の破損につながり、転倒などの事故が発生することがあります。

- 抑速ブレーキを効かせて、常にタイヤを引きずるような状態で使用しないでください。
- 右図のようにタイヤの接地面には溝が付いています。この溝がどれか一つでも、すり減って確認できなくなった場合、タイヤの交換時期です。

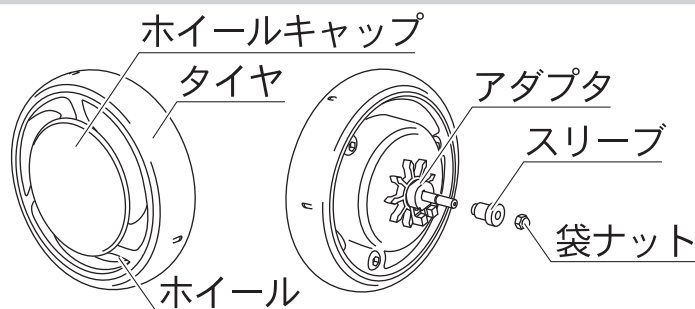


この溝が2～3か月以内の早期に無くなる場合はタイヤを引きずった状態で使用している可能性がありますので、以下の項目をご確認の上、ご対応ください。

⚠ 警告

- ・ 抑速ブレーキ力の調整
ブレーキ力が強すぎる可能性がありますので、安全に支障のない範囲でブレーキ力を弱めに再調整してください。
※ブレーキ力調整は、ご購入販売店にご相談の上、ご対応ください。
- ・ 速度を抑えた歩行
歩行速度が速いほど、タイヤを引きずるような状態になりやすくなります。速度を抑えて歩行してください。
- ・ 定期点検
何か異常を感じたら直ちに使用を中止して点検を受けてください。
また、異常が無い場合でも1年ごとの定期点検を推奨いたします。
※詳しくは、ご購入販売店にご相談の上、ご対応ください。

各部の名称と製品仕様



車 輪 外 径	150 mm
重 量	約0.7kg(1個あたり)
ブレーキ力調整	3段階

※ブレーキ力調整はご自身で行わないでください。必要な場合は、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

日常の点検

定期的に点検を行うことで商品をより安全にお使いいただくことができます。

基本的な点検内容

- ・タイヤやホイール(内側もしくは外側)にひび割れや変形はないか？
- ・タイヤ外周の溝が摩耗し、タイヤの交換時期を過ぎていないか？
- ・抑速ブレーキの効き具合が悪い、もしくは効かないことはないか？
- ・使用時に後輪からこすれ音などの異音が発生していないか？
- ・使用時に車輪が大きく振れていないか？
- ・車輪取付ナットや本体取付ボルトがゆるんでいないか？
- ・ホイールキャップがはずれやすくなっていないか？



警告

- 上記点検で異常が見つかった場合は、ご使用を止めて、かならずご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口にご連絡ください。



注意

- ボルト・ナットの締結部品をゆるめたり、分解・改造したりしないでください。分解・修理が必要なときは、かならずご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へ連絡してください。

お手入れ方法

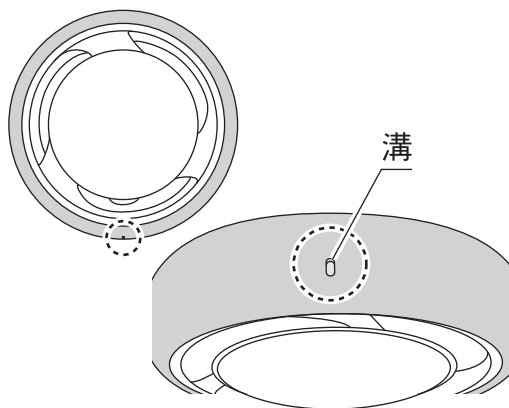
タイヤや車輪などは、水を含ませ固くしぼった布で拭いてください。



注意

- お手入れの際は、水をかけないでください。水を含ませ固くしぼった布で拭いてください。
- 水が入った場合は、使用前に5、6回抑速ブレーキをかけて、抑速ブレーキがかかることを確認してから使用してください。もし、抑速ブレーキがかからない場合は、何回か抑速ブレーキをかけて抑速ブレーキ力が回復することを確認してから使用してください。
- グリスや油は入れないでください。十分な抑速ブレーキ力が出ず転倒につながるおそれがあります。
- 石鹼水や、油性のクリーナーを使用しないでください。内部に液体が侵入し、十分な抑速ブレーキが出ずに転倒につながるおそれがあります。

タイヤの交換時期確認方法



タイヤの接地面には図の様な溝が付いています。左右のタイヤの溝どれか一つでも、すり減って確認できなくなった場合、タイヤの交換時期です。ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
(※タイヤは左右両方を交換してください。片方のみですと左右のブレーキの効き方に差が生じる場合があります。また、すべてのタイヤが接地せず車体ががたつく場合があります。)

故障かな？と思ったら



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 異常がある場合は使用しないでください。
- 使用中に何か異常を感じたら直ちに使用を中止し、すぐにご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
- 分解や改造はしないでください。分解・修理が必要なときはご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
- グリスや油は入れないでください。抑速ブレーキがかからず転倒するなどのおそれがあります。

故障かな？と思うような現象が発生したら、修理を依頼する前にもう一度、下記の点を確認してください。

こんなとき	ここを確認	直し方
駐車ブレーキがかからない	グリップから手を離した際、後輪部のブレーキ部品が後輪ホイールから抜けていませんか？	11~13P のブレーキの調節方法をご確認いただき、ブレーキワイヤーの張りを調節してください。もしくはブレーキ部品を再調節してください。
駐車ブレーキが解除されない	グリップを握った際、後輪部のブレーキ部品が後輪ホイールに当たっていませんか？	
走行操作が重い	タイヤに髪の毛やほこりなどのゴミがはさまっていませんか？	はさまっているものを取り除いてください。
異音がする	ボルトやナットがゆるんでいませんか？	
タイヤが大きく振れる		

※本抑速ブレーキ機構は摩擦式のため、こすれるような音（抑速ブレーキ作動音）が多少発生します。また、音は気温や温度などの環境によって変化します。

上記の対処をしても良くならない場合、または現象に当てはまらない場合は、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

ココロ、ヨロコブ、テイコブ

Tacaof

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、
ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。